ドキドキ IZUCHU図書館 わくわく

図書室って
マイチャレの
宝庫なんだよ

和泉中学校図書館　第７３号　２０２０年１１月発行

「図書室でマイチャレ」はいかが？

♦図書室の本を使ったマイチャレのすすめ♦

その１　授業で習ったところを、図書室の本で深めてみよう

図書室の本には教科書より詳しい説明
が載っているものが多いよ

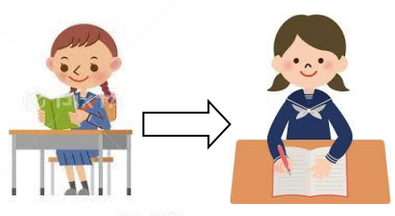
例）・社会で習った歴史上の人物について調べてみる
・美術の教科書に載っていたアーティストの作品や背景などを調べてみる

→授業に興味がでます

その２　読書が好きな人は、読んだあとに記録を残してみよう

例）
- 今まで読んだ本を読書ノート風に記録してみる
- 読んだ本の内容を要約してみる
- 本を読んで印象に残った文章やセリフを書き写してみる
- 好きな作家について調べてみる
- 詩や短歌の本を読み、気に入った作品をノートに書き写してみる

インプット（読む）から
アウトプット（書く）へ



→文学作品が深く味わえるようになります

その３　自分の好きなテーマで研究してみよう

「面白い」・「好き」が
すべての始まりなのだ！

例）
- なりたい職業について調べてみる
- ニュースなどを聞いて疑問に思ったことを調べてみる
（アメリカ大統領選のしくみなど）
- おいしいおやつの作り方
- K-POP が好きなので、韓国語を勉強してみる
- 行ってみたい国のことを調べてみる
- 図書室の英語の絵本を日本語に翻訳してみる
- 身近な植物や昆虫の生態を調べてみる
- スポーツの効果的な練習方法や技を調べてまとめてみる
- 名言集を作ってみる
- 漢検や英検の問題を練習してみる
- 百人一首の意味を調べて暗記してみる
- 花ことばや誕生石などを調べる

など、あなたの興味次第で、テーマは無限

→いろいろなことへの関心が広がります

朝の読書の本は準備できていますか？

本が準備できていない人は、

図書室に借りにきてください。

今月の特集：たからもの

埋もれているお宝を探す本　３冊

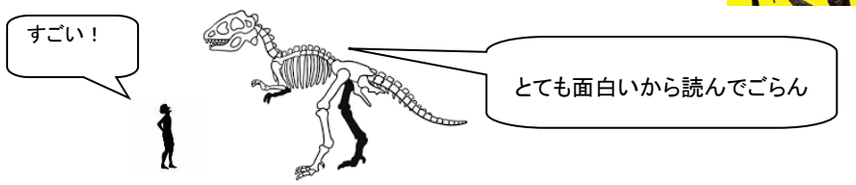
「漫画　むかわ竜発掘記」小林快次・監修

◆日本最大級の恐竜全身骨格の化石が発見された！

2003 年、北海道むかわ町を散歩していた人が偶然見つけたひとつの化石。その化石をもとに、日本初の恐竜の全身骨格が完全な姿で掘り出された。

その 11 年間におよぶ人々の奮闘をマンガで描いている。恐竜研究の最前線と未来がわかる楽しい一冊。

（※むかわ竜の正式学名はカムイザウルスです）



「恐竜まみれ　発掘現場は今日も命がけ」小林快次・著

◆日本で一番有名な恐竜学者の超スリリングな発掘記！◆

「化石ハンター」「ハヤブサの目を持つ男」という異名を持つ小林氏は、危険と隣り合わせの中、世界中を歩き回る。

「人と同じところを探さない、同じ場所を通らない」

「発掘した化石は持ち帰らず、その国の研究所に渡す」

が小林氏のモットー。

化石マーケットで化石が商品になるため、盗掘が後を絶たず、重要な文化財が失われていく風潮にも警鐘をならす。

※小林氏は上記の「むかわ竜発掘記」にも登場するので両方読むと、とてもよくわかって面白いよ。

「遺跡発掘師は笑わない　ほうらいの海翡翠」桑原水菜・著

◆奈良の古墳から出土した緑色の琥珀が殺人事件を呼び寄せる◆

次は、恐竜ではなく古墳の発掘だ。

遺跡の発掘がからむミステリー小説。主人公の西原無量は、「鬼の手（オーガ・ハンド）」を持っている。彼の右手には鬼の顔に似た傷跡があり、土の中に埋もれたお宝に近づくと特別な反応を示し、普通の人では見つけられない貴重な出土品を次々に掘り出してしまう。

そんな無量の特殊能力がある組織に狙われた！

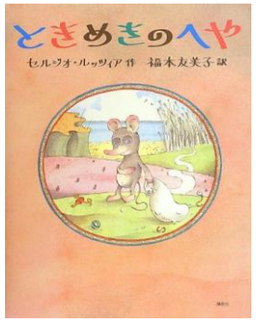
絵本「ときめきのへや」ルッツィア・著

◆他人から見るとつまらないものだけど…◆

「ときめきのへや」には、ねずみのピウスがこれまでに集めたものが、全部、かざってある。この素晴らしい宝物を見せてもらおうとあちこちからいろいろな人がやってくる。

ところが、宝物の中で、ひとつだけ、誰もが首をかしげるものがあった。どう見てもつまらないただの石ころが素敵なガラスケースの中にいれて飾ってあったからだ。

みんなから「この石はときめきの部屋にふさわしくない」と言われ、ピウスは石を捨ててしまう。ピウスにとっては一番ときめくものだったのに…。すると…。



自分の心に正直になれる
とても素敵な絵本だよ。

「億男」川村元気・著

◆突然、億万長者になった男の、お金をめぐる３０日間の大冒険◆

宝くじで３億円を当てた一男。不安になった一男は、大金持ちの親友・九十九のもとを１５年ぶりに訪ねる。だがその直後、九十九に３億円を持ち逃げされてしまった。

一男は「お金と幸せの答え」を求めて、金持ちを訪ね歩く。福沢諭吉、ソクラテスなどの名言も多数登場する。（当時、不動産王だったドナルド・トランプの言葉も…）

人間にとってお金とは何か？「億男」になった一男にとっての幸せとは何か？

そして九十九が抱える秘密とは？

「ぐでたま哲学」サンリオ・著

実習生　堀尾先生のおススメ本です

◆たまにはぐっでと生きてみませんか？◆

この本をおすすめするのには２つの理由があります。１つ目は、単純に僕はぐでたまが好きだからです。なんともいえない抜けた感じが好きでたまらないです。そして２つ目は、忙しい日々を送っている人や頑張りすぎている人におすすめしたいからです。疲れていたりしんどいなと思う日には、この「ぐでたま哲学」を読んでみて欲しいです。

「人生はもっとニャンとかなる！」全水野敬也＋長沼直樹・著

◆いろんな事を知ろう！経験しよう！◆

この本はページを開けるごとに、偉人たちの名言と超かわいい猫の写真が載っています。この中で特に僕が好きな名言はチェ・ゲバラの「でかけよう。答えは外にある。」です。今はコロナであまり自由にあちこちいけないと思いますが、いろいろなことを知り、経験することで新しい世界が待っていると思います。一歩踏み出せないでいる人、将来に悩んでいる人の背中を押してくれる一冊です。